

平成29年度 事業評価書

評価対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日分
施設名	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
指定管理者名	公益財団法人鳥取市文化財団
指定管理期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
施設所管課名	鳥取市教育委員会事務局文化財課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
<b>I. 公共サービスの実施状況</b>				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	聞き取り 書類	
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	聞き取り	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	聞き取り	
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞き取り	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書類	
6 減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切	聞き取り	
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	4	4	聞き取り	あおや夏まつり、あおいちに協力。夏休み期間・春季には、(公財)鳥取市文化財団が管理する3施設と協力してスタンプラリーを行った。
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	4	4	聞き取り	アンケートを通年で行っており、アンケート回答を促すため、回答者には記念の粗品を進呈している。回答は概ね好評をいただいている。
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞き取り	
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	4	4	聞き取り	体験メニューを工夫し、新規メニューを入れるようにしたり、好評を得ているメニューは実施回数を増やしている。また、むぎぼんだ史跡公園まつりで出張体験を行なって遺跡や施設のPRを行なったり、青谷町内の催しにイベント開催協力を行なったりしている。
<b>II. 施設の維持管理の実施状況</b>				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	聞き取り	
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	聞き取り	
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞き取り	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞き取り 書類	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	4	4	聞き取り 書類	異常が認められた場合には速やかに緊急連絡網に沿って報告し、修繕を行なっている。
<b>III. 施設の経営状況</b>				
16 事業収支は妥当であるか	3	3	聞き取り	指定管理業務全体で収支相償である。
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	4	4	聞き取り	温湿度管理等のチェックを定期的に行い、展示資料の維持管理をしつつ、光熱水料費の節減に努めた。

IV. 法令等の遵守状況					
18	個人情報の管理は適切に行われたか	4	3	聞き取り	体験・イベント参加者の個人情報は目的外に使用していない。個人情報が記載されたペーパー文書を破棄する場合はシュレッダーにかけて破棄している。(求める管理水準内である)
19	市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞き取り	
20	労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	聞き取り	
21	設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	聞き取り	
V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	4	4	聞き取り	フェイスブックを新たに開設し、最新情報の提供を図った。ミュージアムネットワークに参加し、フェイスブックに情報提供している。
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	3	現物確認	アンケート結果をロビーで掲示。
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	聞き取り	
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	聞き取り	
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	4	4	聞き取り	職員の名札裏に「緊急時の行動」一覧表を入れて緊急時にはすぐに行動に移ることができるようにしている。緊急連絡網を見える場所に設置。

## 2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	イベントで新たなメニューを実施したり、好評のメニューは実施回数を増やすなどして、参加者・入館者増を図っている。指定管理料・事業収入の範囲で事業を行っており、経営状況に問題はない。
施設所管課	指定管理者は公益財団法人であり、調査研究、展示公開、教育普及等の指定管理施設の管理運営業務と埋蔵文化財発掘調査等業務を公益目的事業として行っている。いずれも専門性のある業務であり、市民文化の発展と地域振興に寄与している。埋蔵文化財発掘調査については受託業務量が減少していくが、全体で見れば収支は安定して推移しており、経営状況に問題はない。

## 3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	常設展示替えを行い、テーマも青谷上寺地遺跡のデザイン・文様から青谷上寺地遺跡の交流に変更した。(公財)鳥取市文化財団が管理する鳥取市青谷上寺地遺跡展示館、鳥取市あおや郷土館、鳥取市あおや和紙工房の3館と連携してスタンプラリーを実施。また、むきばんだ史跡公園で毎年開催されるまつりで貝輪づくりの出張体験を行い、多くの方に参加いただいた。あおいちやあおや夏まつりなど、地域のイベントでは連携して事業を実施し、地域の活性化にも協力をしている。鳥取県埋蔵文化財センターが刊行している報告書等の委託販売を行なっている。
施設所管課	出土遺物やレプリカは県所有物であり、学芸員が展示テーマを変更しながら、毎年、2月に県教育委員会の協力を得て一部の展示替えを実施し、展示替えによる集客を図っている。毎年、新規の体験事業メニューを開発するなど、精力的に活動されている。30年4月には異動によって展示館の学芸員が交代しているが、さらに発展的な活動を望む。 あおいち、あおや夏まつり、むきばんだ秋まつりなどとの連携については定着し、遺跡の情報発信や地域活性化、文化財愛護精神の高揚などに寄与しているところであり、さらに重点化してほしい。

4. 総括コメント

<p>指定管理者</p>	<p>関係諸機関との連携をはかりつつ青谷上寺地遺跡の素晴らしさを広く県内外にPRし、諸事業も概ね好評を得ている。来館者からは施設の場所が分かりにくいという苦情が相変わらず多く寄せられている。中には何度も同じ場所をぐるぐる回ってやっとたどり着いたといった苦情もあり、対応に大変苦慮している。案内板を道路沿いに多く設置するなど、何らかの対応が必要である。また、施設には体験スペースがなく、本来体験目的のスペースではないロビーで実施しているため、一度の事業では募集人数が限られることや、体験学習・イベントのメニューを開発・実施するにも施設による制約が大きいいため、実施内容に限界がある。また、事業中はロビーで上映している映像を一般の来館者が見ることが出来ないといったさまざまな問題がある。</p>
<p>施設所管課</p>	<p>施設が県中部に隣接していることから以前から倉吉市及び周辺町からの来館が多かったが、平成28年10月の鳥取県中部地震後は少なくなり、影響が出ている。県により、出土遺物の出土時の状況が分かるように、展示室には展示パネル3枚にQRコードが組み込んであり、遺跡現地にも13枚、同様の説明板が設置してあるが、利用は低調である。誰でも見られるよう、タブレット端末の貸し出しなどを含めて検討してほしい。 展示館が「青谷上寺地遺跡友の会」の事務局をもち、会員には展示解説や体験事業の指導員としても活躍していただいている。また、友の会が「青谷上寺地遺跡を学ぶ会」を組織し、遺跡等の知見を高めるための自主活動をされている。こうした地域住民を巻き込んだ活動をさらに深化させてほしい。</p>

<p>確認方法</p>	<p>書類、聞き取り、現地確認</p>
-------------	---------------------

<p>評価区分</p>	<p>4 求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある</p> <p>3 求める管理水準が適切に実施されている</p> <p>2 求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある</p> <p>1 求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する</p> <p>0 求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている</p>
-------------	---













## 【資料2】

施設名 青谷上寺地遺跡展示館

## 1. 施設利用者数

項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
入館者数(人)	9,400	7,975	9,400	8,230						

## 2. 事業収支

項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
指定管理料	13,016,000	13,016,000	13,016,000	13,016,000	13,016,000		13,016,000		13,016,000	
事業収入	98,000	198,399	98,000	163,075	98,000		98,000		98,000	
使用料収入	0	8,050	0	430	0		0		0	
その他	36,000	36,900	36,000	36,000	36,000		36,000		36,000	
収入計(A)	13,150,000	13,259,349	13,150,000	13,215,505	13,150,000	0	13,150,000	0	13,150,000	0
支出計(B)	15,650,000	16,543,239	15,650,000	16,079,563	15,650,000	0	15,650,000	0	15,650,000	0
事業収支A-B	△2,500,000	△3,283,890	△2,500,000	△2,864,058	△2,500,000	0	△2,500,000	0	△2,500,000	0